

# 船橋市議会議員

千葉民主連合所属

みっはし

## 三橋さぶろう

議会活動報告



### 救える命を確実に守る

夏本番となり暑い日が増えてきました。昨年の夏は猛暑のため熱中症などで体調を崩される方が多く、救急隊の出動も急増しました。東京消防庁などでは常用の救急車だけでは足りなくなり、非常用救急車を連日運用して対応したそうです。船橋市消防局の救急も、昨年は猛暑などの影響もあり出動件数が過去最高を記録しています。具体的には2018年の船橋市消防局の救急出動件数は34,648件で前年よりも1,377件増加しています。

救急出動が多くなると、救急車（隊）が傷病者のもとに到着する時間が長くなります。その理由は119番通報があると傷病者がいるところから一番近くの消防署から救急車が出動しますが、直近の救急車がすでに出動してしまっていることがあり、その場合は2番目、3番目に近くにいる救急車を手配します。結果的に傷病者のところから遠くの救急車が来ることになり、通報から現場に到着するまでの時間が長くなってしまいます。（裏面に続く）

### 三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(40歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業  
株式会社カネボウ  
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目 当選
- 特 技: クロスカントリースキー
- 1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
- 2002年ソルレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻、息子(6歳)、娘(1歳)
- 趣味: 子どもと散歩
- 船橋市習志野台 在住

(表面から)

119番通報から傷病者のもとに救急車(隊)が駆け付けるまでの時間を「現場到着所要時間」といい、統計が出されています。2018年、船橋市消防局の救急車現場到着所要時間は9分37秒で昨年よりも11秒遅くなっています。(2017年の全国平均は8分36秒)

救急救命では一分一秒が命を左右しますし、手当が早ければその後の回復にも影響する場合がありますので、救急隊の方が傷病者のもとに早く到着することが望まれます。こうしたことから私は市議会で救急車(隊)の増設を求め続けています。2015年には東署に第2救急隊(車)の配置、2017年には救急車の負担軽減するため転院搬送を専門に行う救急車の配置、そして本年4月からは古和釜分署に新たな救急隊(車)の配備となりましたが、救急隊(車)が十分に整備されている状況とは言えません。総省消防庁の消防力整備指針では、人口が64万人の船橋市では救急車は16台整備する必要がありますが、まだ15台しかありませんので、早期に整備する必要があります。これに加えてさらに救急隊(車)を増設する必要が出てきました。5月末日に新たな人口推計が発表されましたが、2023年には人口が65万人を超える見込みです。人口が65万人場合、船橋市が整備すべき救急車の整備台数は1台増えて17台になります。新しい人口推計に見合った救急車の台数整備が新たに必要となりました。

救急車を1台増やすためには、それを運用する人材を育成する必要があり、数年の年月が必要ですからすぐにでも取り組む必要があります。救える命を確実に守るため、引き続き議会で取り組んでまいります。

## 令和元年 船橋市議会 第2回定例会

8月29日(木)～10月4日(金)

市議会はインターネットでも中継されます。

議案や審議内容、日程等については議会ホームページをご覧ください。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。